

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	葉山町役場		代表者名	山梨 崇仁	
担当者部署	総務部		連絡先電話番号	046-876-1111	
担当者役職	係長	担当者氏名	佐々木 周子	連絡先E-mail	*****
住所	240-0192 神奈川県葉山町堀内				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	派遣決定後の初回連絡から支援1日目まで、随時メールで丁寧なご対応をしていただけました。支援1日目のZOOM打ち合わせでもスムーズかつ丁寧なやり取りができ、大変満足しています。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。セミナー当日もどうぞよろしくお願いいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年5月26日	事前打合せ(実地)	有	令和5年5月25日	667
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年5月23日	事前打合せ（オンライン）	17時30分	18時30分	
				活動時間（分）	60
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	7人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・全庁的なDXを進めるためには所属を束ねる立場である部長級、課長級職員の理解が不可欠であり、幹部職員の意識向上と機運醸成が課題である ・全庁的なDX推進への理解や必要性の浸透が図れておらず、どのような検討を行い、取り組む必要があるか、職員間の意識に差異がある	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	職員間での意識統一と機運醸成を図り、DX推進の取組みを実行できる人材育成を行う	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	セミナー開催に向けた事前打ち合わせ	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	事前打ち合わせのため、改善・解決については特にありません	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	事前打ち合わせのため、持ち越しは特にありません	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 実施なし(セミナー開催時にはアンケートを予定)	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	1. 職員間での意識統一と機運醸成 2. DX推進の取組みを実行できる人材育成	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

